

はじめに 具体的な分煙環境整備活動

②喫煙場所設置活動(オフィス)

三菱ビル（東京都千代田区）

ビルの地下1階に、リフレッシュ・ルームと隣接する形で設置された喫煙スペースです。室内の色調を茶形でまとめたことで、落ち着いた雰囲気を醸し出しつつ、汚れが目立ちにくくなっています。

排気口が設置されている室内奥には、着席スペースを設置。喫煙者を室内奥へと誘導することで、室外への煙の漏れ防止に成功しています。床に、耐シガレット性のタイルを使用し、焼け焦げの発生を防止している点もポイントです。

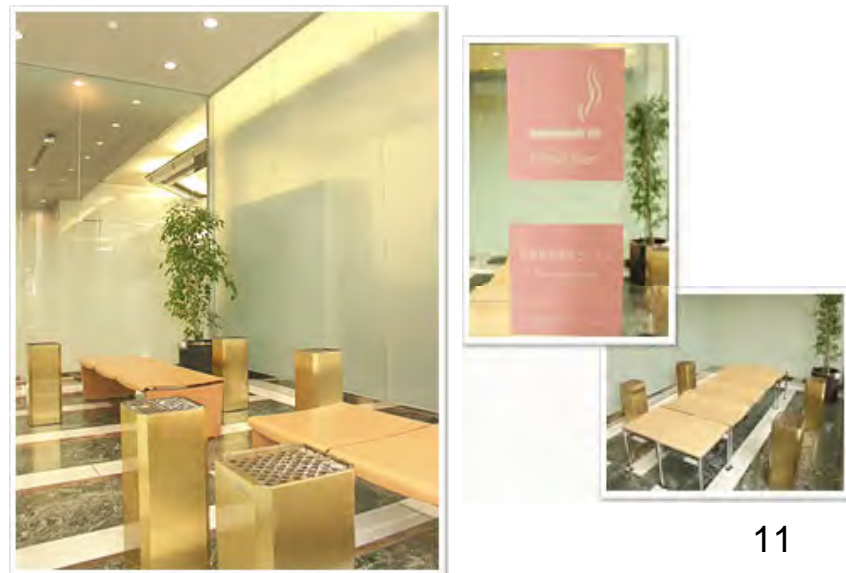


ワールドビジネスガーデン（千葉県千葉市）

1階のロビー・フロア内に、男女共用と女性専用の2カ所の喫煙スペースが設置されています。

ビルの外に設けられた喫煙スペースと併せ、利用される方のさまざまなニーズやシーンを考慮した造りになっています。

汚れ(ヤニ等)が付着しても掃除しやすい造りになっていたり、大理石を使用しているため、焦げ跡が付きにくくなっています。



はじめに 具体的な分煙環境整備活動 ②喫煙場所設置活動(商業施設)

阪急西宮ガーデンズ (兵庫県)

阪急西宮北口に直結する生活提案型のショッピングモール内に、9箇所の喫煙スペースが設置されました。

1階に3箇所、2階に2箇所、3階～5階に各1箇所ある喫煙スペースは、全てインテリアが異なり、屋上庭園内のスペースも含め、バリエーションも豊か。268店舗が集い、西日本最大級のスケールを誇る空間で、幅広い層の人々に利用されています。

(2008年11月設置)



イオンレイクタウン (埼玉県)

“人と自然に「心地よい」”をコンセプトとし、「kaze」と「mori」の2つの街区で構成された日本最大のエコ・ショッピングセンター内に、喫煙スペースが設けられました。

“大人”をテーマとするトライアングル・モールの「kaze」には、フードコートを含み計7箇所、ビューティーゾーン&オートモール&ニューファミリー・ゾーンの3区画を要する「mori」には計4箇所の喫煙スペースが、それぞれ配置されています。

ウォークアブル(=歩き易い)・ユニバーサル(=誰にでもやさしい)・コミュニティ(=憩いの場となる)というキーワードととも合致した喫煙スペースの誕生が話題を呼んでいます。

(2008年10月設置)



はじめに 具体的な分煙環境整備活動

②喫煙場所設置活動(商業施設)

イオンナゴヤドーム前ショッピングセンター

(愛知県名古屋市)

3階建ての店舗内に、計6カ所の喫煙スペースが設けられているほか、3カ所ある店舗の出入り口にもスタンド灰皿が設置されています。

館内の喫煙スペースには、分煙機を導入。ガラスの間仕切りが採用された室内は、見通しがよい上、清潔感が漂っています。



金沢フォーラス (石川県金沢市)

6階フロア「ダイニングリゾートKUUGO」に設置された喫煙スペースです。

食事の前後に利用されることが多いため、特に清潔感を重視した造りになっています。

喫煙スペース内部には、荷物を置ける棚が設置されています。

扉や灰皿、空調の設置位置は、排気機能や喫煙者の心理を考慮してレイアウトされています。



はじめに 具体的な分煙環境整備活動

②喫煙場所設置活動(商業施設)

港北東急（神奈川県横浜市）

ショッピング・エリアと専門店街の間＝ビルの中央部分に、2カ所の“SMOKING LOUNGE”が設けられています。

スタンド灰皿の脇には、腰を落ち着けられる“ヒップ・バー”を設置。間接照明やグラフィック・アートで構成されたスペースには清潔感も漂い、待ち合わせなどのシーンにも対応できるようになっています。



たまプラーザテラスゲートプラザ (神奈川県横浜市)

たまプラーザ駅に直結するショッピング・モール内に設置された喫煙スペースです。2階のショッピング・フロア内に設けられています。

アート・イメージである“木漏れ日感”を取り入れたスペースには、落ち着いた色調の格子や、モザイク模様を施したガラス扉などが配置され、柔らかな光の陰影の中で、安らぎの時間が過ごせます。

壁面には、軽く腰を落とせる“ヒップ・バー”も設置してあります。



はじめに 具体的な分煙環境整備活動 ②喫煙場所設置活動(商業施設)

マリノアシティ福岡 (福岡県福岡市)

福岡県福岡市の西のエリアにある都市型のリゾート&エンターテインメント施設「マリノアシティ福岡」に、“SMOKING LOUNGE”が設置されました。施設内の入り口の脇に1カ所と、敷地内の外構部に3カ所ある喫煙スペースのテーマは、すべて“海&波”。ウォーターフロントに位置する施設のイメージとも符号した、リフレッシュ空間となっています。



ららぽーと柏の葉 (千葉県柏市)

3階の屋外テラスの入り口に隣接して設置された、喫煙ラウンジです。曲線状につくられた内部には、テラスに面した大きな窓から光が入り、開放的な雰囲気になっています。

また、ラウンジ内には、館内情報を提供するモニターや、CDの視聴コーナーも設置。買い物の前後などにも気軽に利用することができます。



はじめに 具体的な分煙環境整備活動 ②喫煙場所設置活動(商業施設)

ららぽーと横浜（神奈川県横浜市）

“ライフ・ウィズ・カルチャー ～物を買うだけでなく、豊かな時間の過ごし方を提案する～”をコンセプトとする、大型ショッピング・モールに設けられた喫煙スペースです。

館内に5カ所ある喫煙スペースのテーマは、“環境とアート”。1室ごとに換気方式まで異なるスペースは、それぞれに特徴を持たせたグラフィックが採用され、汚れが目立ちにくくメンテナンスしやすい素材の採用や荷物棚など、利用者の視点に立ったさまざまな工夫がなされています。



UNIMOちはら台（千葉県市原市）

“一日中楽しめるユニーク(=unique)な場”と、“すべての人に優しいユニバーサル(=universal)な場”をコンセプトとする、大型ショッピング・モール「UNIMOちはら台」に設けられた喫煙スペースです。

館内に6カ所＋屋外に1カ所ある喫煙スペースのテーマは、“四季の風景”。壁面には、日本の四季を彷彿とさせるアーティスティックなディスプレイが用いられ、利用者が開放感を感じられるような造りになっています。また、壁面には“フラワータイル”を使用し、花の香りでたばこのにおいを軽減させるさりげない試みもされておりま



はじめに 具体的な分煙環境整備活動

③分煙コンサルティング活動

施設管理者による「受動喫煙防止の取り組み」の支援

- JTでは、2004年より社内に「分煙コンサルティングチーム」を設け、公共施設や商業施設、オフィスなど、各施設の特徴やそれらを利用される方々のニーズに応じた“分煙コンサルティング”を実施しています(2008年度1年間のコンサルティング実績 441件)。
- “たばこを吸われない方”に配慮した上で、“たばこを吸われる方”も満足できる分煙方法についての知見提供・提案・アドバイスを、無償で行っています。



はじめに 具体的な分煙環境整備活動

③分煙コンサルティング活動例(イベントホールの事例)

■相談内容

イベントによっては、屋内喫煙場所周辺に人があふれ、通路全体に煙が広がっている。屋外にも喫煙場所はあるが、限られた休憩時間中に、喫煙者全員を広い敷地内の屋外の喫煙場所に誘導することは困難であることから、なんとか屋内の喫煙場所を改善できないか？

■コンサルティングの流れ

- STEP1 JT分煙試験室にて、施設担当者とともに、デモンストレーションを実施
- STEP2 現地喫煙場所を訪問し、実際の使用状況を確認調査し、改善方法を施設担当者と協議
- STEP3 施設側にて、排気装置を設置
- STEP4 現地にて、スモークマシーンによる実験を行い検討
- STEP5 施設側にて、喫煙場所周囲にビニールカーテンを施工し、完成



(STEP1 JT分煙試験室)



(STEP5 完成)

ビニールカーテンの中が喫煙場所

■結果

喫煙者をビニールカーテン内の喫煙場所に誘導することができ、排気設備により、通路全体に煙が広がることもなくなった。

はじめに 具体的な分煙環境整備活動

③分煙コンサルティング活動(オフィスの事例)

■相談内容

社員向けの喫煙室からニオイが非喫煙エリアに流れて社員から苦情がきている。
排気装置の追加など設備対応が困難であり、何か他に有効な解決法はないか？

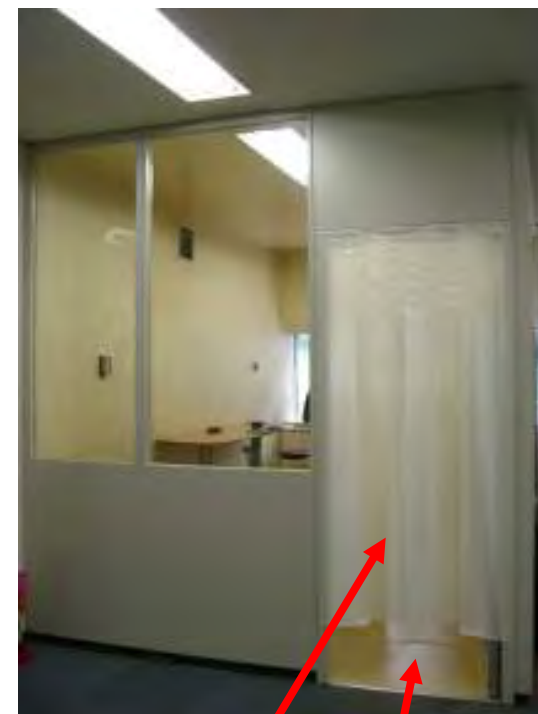
(施工後)

■コンサルティングの流れ

- STEP1 現地喫煙場所を訪問し、実際の使用状況を確認調査
→喫煙室に向かう気流がないことが漏れの原因
- STEP2 喫煙環境改善の提案書を作成し説明
(出入り口部の開口面積を狭めるご提案)
- STEP3 施設側が喫煙室入口にビニールカーテンを設置
- STEP4 施設管理者と出入口の風向・風速を測定し、十分な気流(0.2m/s以上)が担保されていることを確認

■結果

「ニオイの漏れがなくなり、社員からの苦情もなくなった。」



ビニールカーテン

開口部

はじめに 具体的な分煙環境整備活動

④未来の分煙に向けた取組

● 「SMOKERS' STYLE COMPETITION」

- たばこを吸われる方と吸われない方が共に快適に過ごせる環境の整備・普及を目指し、アイデアや空間作品を「新建築」※とともに募集しています。

※「新建築」
建築専門の出版社「新建築社」が発刊する、
建築家の間では最もポピュラーな雑誌



第3回目を迎えた今回は“『人』を分けずに『煙』を分ける”のコンセプトのもと、2部門から分煙作品を募集。例年と同様に分煙の優れた実施例を競う作品例部門と併せ、アイデア部門では、東京都世田谷区・自由が丘の自由が丘緑道を仮定の舞台と定め、パブリック・スペースでの喫煙スタイルのアイデアを求めました。

SMOKERS' STYLE COMPETITION ～アイデア部門～

テーマは“パブリックスペースでの喫煙スタイル 人々の集う風景”。
自由が丘の南口緑道を題材に、誰もが利用できる公共エリアでの空間づくりのアイデアを募集しました。



最優秀賞受賞作品。時間帯や気候に応じて灰皿の数や場所を変えるなど、フレキシブルな発想が評価された。